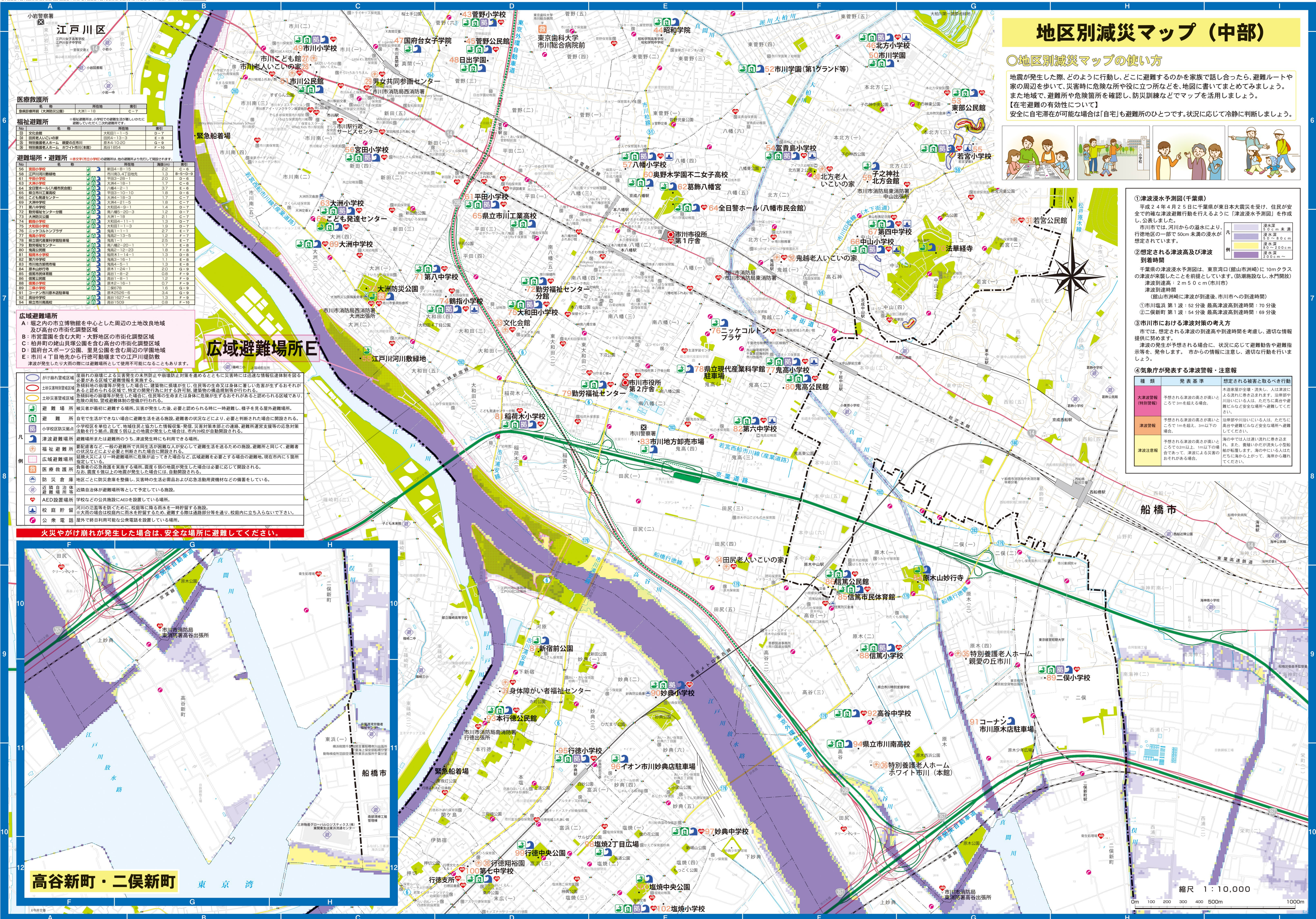




地区別減災マップ (中部)

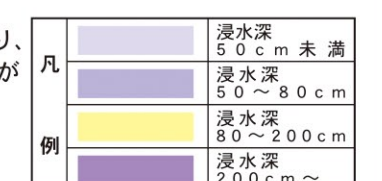
〇地区別減災マップの使い方

地震が発生した際、どのように行動し、どこに避難するかを家族で話し合ったら、避難ルートや家の周辺を歩いて、災害時に危険な所や役に立つ所などを、地図に書いてまとめてみましょう。また地域で、避難所や危険箇所を確認し、防災訓練などでマップを活用しましょう。
【在宅避難の有効性について】
安全に自宅滞在が可能な場合は「自宅」も避難所のひとつです。状況に応じて冷静に判断しましょう。



①津波浸水予測図(千葉県)

平成24年4月25日に千葉県が東日本大震災を受け、住民が安全で的確な津波避難行動を行えるように「津波浸水予測図」を作成し公表しました。
市川市では、河川からの溢水により、行徳地区の一部で50cm未満の浸水が想定されています。



②想定される津波高及び津波

千葉県は、津波浸水予測図は、東京湾口(館山市洲崎)に10mクラスの津波が来襲したことを前提としています。(防潮施設なし、水門開放)
津波到達高: 2m 50cm(市川市)
津波到達時間
(館山市洲崎に津波が到達後、市川市への到達時間)

- ①市川塩浜 第1波: 52分後 最高津波到達時間: 70分後
- ②二俣新町 第1波: 54分後 最高津波到達時間: 69分後

③市川市における津波対策の考え方

市では、想定される津波の到達高や到達時間を考慮し、適切な情報提供に努めます。
津波の発生が予想される場合に、状況に応じて避難勧告や避難指示等を、発令します。市からの情報に注意し、適切な行動を行います。

④気象庁が発する津波警報・注意報

種 別	発 表 基準	想定される被害と取るべき行動
大津波警報 (特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.3m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	海の中では人は強い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上って、海岸から離れてください。